

令和2年度第1回石狩市障がい者福祉計画策定委員会議事録【要約筆記】

日時：令和2年7月27日（月）13：30～15：00

場所：石狩市総合保健福祉センターりんくる 視聴覚室

出欠状況 出席者 10名

敬称略

委 員					
役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
委員長	戸田 健一	出席	委員	福江 彰	出席
副委員長	細谷 強志	出席	委員	森 朋代	出席
委員	森川 貴司	出席	委員	三島 照子	出席
委員	池田真由美	出席	委員	笹谷 真琴	出席
委員	今西 浩子	出席			
委員	赤山 好明	出席			
事務局	所属		氏名		
	石狩市保健福祉部長		大塚 隆宣		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課長		田村 奈緒美		
	石狩市子ども発達支援センター長		藤田 千晶		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		川村 祐子		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		角田 誠二		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		山本 健太		

傍聴者 0名

会議次第

- 1 開会
- 2 各委員自己紹介
- 3 委員長・副委員長選出
- 4 審議
 - (1) 石狩市障がい者福祉計画策定の基本方針（案）について
 - (2) アンケート調査等実施（案）について
- 5 その他
- 6 閉会

開 会

【事務局田村】 これより石狩市障がい者福祉計画策定委員会を始める。委員の委嘱については既に郵送にて委嘱状を送付済みであり、委員の任期は令和4年3月31日までとなっている。

【事務局大塚】 現在の石狩市障がい者福祉計画は今年度が最終年度となっている。計画の策定にあたり、アンケート調査を含め、当事者からの意見を伺いながら目標値を定めて進めていく予定となっている。現在の計画の継続性に加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含めるなど、広い視点で取り組み、よりニーズに合った計画を策定していきたい。

(事務局職員の自己紹介)

【事務局田村】 会議の中で聴覚障がい者の情報保障ために手話通訳者が通訳を行う。また、大地の会事務局職員の野田氏が福江委員の支援のため同席している。

各委員自己紹介

【戸田委員】 特定非営利活動法人「たねっと」に所属、障がい者相談支援センター夢民で地域づくりコーディネーターをしている。

【森委員】 教育委員会の教育支援センターで特別支援教育に関する相談に携わっている。

【今西委員】 NPO 法人石狩市手をつなぐ育成会からの推薦で参加している。

【赤山委員】 身体障害者福祉協会の会長をしている。

【福江委員】 石狩大地の会の会長をしている。

【笹谷委員】 石狩聴力障がい者協会、手話通訳対策部長を担当している。

【三島委員】 一般公募で委員となった。石狩市視覚障害者協会瞳会の事務局をしている。

【森川委員】 医療法人天公会、石狩ファミリアホスピタルでソーシャルワーカーをしている。主な業務は入院患者の退院支援や、外来患者の相談支援などを行っている。

【池田委員】 社会福祉法人タンポポのはらギャラリーヴィンで、生活介護と就労継続支援 B 型の事業所を行っている。

【細谷委員】 社会福祉法人はるにれの里に所属、石狩市相談支援センター「ぶろっぷ」で障がい者の相談業務を行っている。

委員長・副委員長選出

【事務局田村】 委員長と副委員長の選出方法に意見があればお願いします。

【池田委員】 事務局提案はどうか。

【事務局田村】 委員長には障がい者相談支援センター夢民を運営している NPO 法人たねっこの戸田健一委員、副委員長には石狩市相談支援センターぷろっぴに携わっている社会福祉法人はるにれの里の細谷強志委員にお願いしたいが、いかがか。

(承認)

審議(1)

【戸田委員長】 この会議の議事録作成のために録音しているので、発言の際には所属とお名前をお願いします。議事録については、全文筆記と要約筆記という方法があるが、どちらの方法にするか。挙手で決めたいと思う。

(全会一致で要約筆記に決定)

【戸田委員長】 石狩市障がい者福祉計画策定の基本方針案について、事務局から説明をお願いします。

【事務局川村】 資料2の基本方針案について説明をする。策定の背景について、国の動きは平成 23 年に障害者基本法が改正、平成 25 年には障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正、施行。平成 28 年には障害者差別解消法が施行されている。一方、石狩市の計画の位置づけは、1 つ目の『石狩市障がい者計画』は、石狩市の障がい者の施策を総合的に推進する計画であり、障害者基本法に基づく計画となる。2 つ目の『障がい福祉計画』は、障がい福祉サービスなどの実施計画であり、障害者総合支援法に基づく計画となる。3 つ目の『障害児福祉計画』は、障がい児の通所支援等の実施計画であり、児童福祉法に基づく計画となる。この 3 つの計画を合わせて、石狩市では『障がい者福祉計画』としている。計画の対象期間は、障がい者計画(基本計画)については 6 年、福祉計画(実施計画)については 3 年としている。次に、計画策定の体制について、この策定委員会での審議のほか、アンケート調査を実施する。アンケート調査は、団体対象のヒアリング調査と、障がい者手帳所持者を対象としたアンケート調査、事業所を対象としたアンケート調査の 3 つとし、後ほど説明をする。また、石狩市地域自立支援協議会の意見聴取も行う。最後に、策定のスケジュールについて、8 月にアンケート調査を実施、次回の会議を 10 月下旬頃に予定しており、会議ではアンケート調査の結果や今の計画の進捗状況、そして改正案についてご意見をいただく。12 月に第 3 回の会議を予定しており、12 月から実施するパブリックコメントの計画素案について審議いただく。最後の会議は 3 月に予定しており、計画を決定する。この間、市議会等にも報告し、策定委員会の議事録、パブリックコメントの結果はを公表することとする。

【戸田委員長】 基本方針について質問や意見があれば挙手をお願いします。

【三島委員】 2020年に施策が終わるが、総括はいつするのか。

【事務局田村】 第2回の会議で、アンケートの調査結果、分析とともに、現計画の進捗状況について報告する。

審議（1）

【戸田委員長】 次の議題であるアンケート調査等の実施について、事務局より説明をお願いします。

【事務局川村】 最初に資料の訂正をお願いします。資料6の18歳以上のアンケートの問5と問6について、「あなたのお子さんが」を「あなたが」に修正をお願いします。それでは、資料3のアンケート調査等実施案について説明をする。1つ目の団体ヒアリング調査は石狩市内の10団体に調査票を送付し、回答いただく。また、回答後にヒアリングも行う。調査票は資料4のとおり。調査内容は、「団体の活動状況」を中心に、「差別の解消」や「災害」、「社会参加」、「情報・コミュニケーション」についてとし、調査結果は公表することとしている。2つ目の障がい者手帳所持者へのアンケート調査について、18歳未満対象のアンケートについては資料5のとおり。対象者は約230人。アンケート内容は、「現在のサービスに関する意見」、「差別の解消」や「社会参加」、「災害」における「情報・コミュニケーション」としている。特に、災害については2年前のブラックアウト、今回の新型コロナウイルス感染症について項目を入れている。次に、資料6は18歳以上を対象としたアンケート調査、対象者が約3360人。18歳未満対象のアンケートと違う部分は「雇用、就労」の項目を追加している。これらの障がい者手帳所持者へのアンケートについては、ルビ振り等を希望する場合は、別途回答票を用意する。また、参考資料として、石狩市の『保健福祉ガイドブック』をアンケート調査票に同封する。さらに、市内の団体活動紹介のチラシ等を該当する障がいの方へ案内をする予定。最後に、事業所を対象にしたアンケートについては、資料7。市内の対象事業所は104件、調査内容は「各種サービスについての現状や見込み量」を中心に、「防災」、「地域移行」についてとしている。また、調査結果は事業所を特定されないように公表することとする。

【戸田委員長】 1つ目の団体ヒアリング調査について意見、質問があればお願いします。

【三島委員】 対象の団体が10団体になっているが規約があるのか。私は朗読ボランティアの活動もしているが、対象にならないのか。

【事務局田村】 補助金等、障がい福祉課と関わる団体を対象としているが、差し支えなければ入れさせていただきます。また、対象となる団体が他にもないかどうか再度確認する。

【福江委員】 文字が小さいので大きくしてほしい。意味が分かりやすくなると思う。

- 【戸田委員長】 アンケートの文字と会議の配布資料についても文字を大きくして用意してはどうか。
- 【笹谷委員】 同意見である。
- 【三島委員】 視覚障がい者については、CDなどに録音して送ってはどうか。また、明朝体ではなく、ゴシックのほうがよい。視覚障がいの方は、背景が黒色で、文字が白色の方が見やすい人もいる。
- 【戸田委員長】 アンケートを回答する方に理解しやすいように案内したほうがよい。また、ホームページでダウンロードできるようにするなど手段はいくつかある。
- 【事務局田村】 最大限の配慮をしたい。文字の大きさ、字体についても了解した。アンケートに関してはホームページで公開し、ルビ振りなどの調査票はホームページでダウンロードできるようにする。白黒反転の調査票も用意するなど、できるかぎりの方法で対応をしたい。また、音声に関しては、希望があれば音声でお届けできるように対応したい。
- 【笹谷委員】 例えば高齢の聴覚障がい者の場合、文章を読むのが苦手な方もいるので、手話で伝える方法もあればいいと思う。
- 【事務局田村】 本人の了解があれば、手話通訳で対応する。
- 【戸田委員長】 次に18歳未満対象のアンケート調査票について意見を伺う。
- 【森委員】 資料5の問3の回答項目⑫、⑬は同じ意味だと思う。北海道教委育委員会の通知では道立特別支援学校（高等部）に視覚、聴覚、知的、肢体不自由が入っている。また、回答方法について、分かりやすく年代別に整理すると見やすいと思う。次に、資料5の問15、17で「あなたが」と「あなたのお子さんが」が混在しているので、どちらかに統一した方がよい。
- 【福江委員】 質問項目をもっと減らした方がいい。項目が多すぎるのでシンプルにして欲しい。回答項目の「その他」もなくした方がいい。
- 【戸田委員長】 質問の数が全部で17問あるが、どれくらいの数に絞った方がいいと思うか。
- 【福江委員】 10問くらいに。
- 【戸田委員長】 計画自体は非常に幅があり、当事者に聞きたいことがいろいろあるので、10問くらいに減らすのはいかがなものか。

- 【事務局田村】 質問項目が多いので、回答者の集中力が続かないという懸念はあったが、市の施策なので、できるかぎり項目を絞った結果の数となっている。福江委員が答えにくいのはどこなのか教えていただきたい。
- 【福江委員】 「あてはまる番号にいくつでも〇をつけてください」とあるが、これは1つか2つに絞った方がよいと思う。
- 【戸田委員長】 福江委員からの提案については、アンケート内容を精査する中で可能であれば事務局で検討いただきたい。
- 【森川委員】 資料6の問7の回答項目について、「その他」で想定される回答は何か。
- 【事務局田村】 重度障害者包括支援など、該当者が1人か2人となっており、回答者が特定されるので「その他」の項目を設定した。
- 【今西委員】 資料6の問19で「お子さんが」は「あなたは」に修正した方がいい。
- 【戸田委員長】 アンケート調査票の修正についてはいつまでか。
- 【事務局田村】 8月20日に調査票の発送を予定しているので、委員皆様からの修正提案は8月12日までをお願いしたい。
- 【今西委員】 18歳以上対象のアンケート調査について、「回答できない場合はご本人から聞き取りなどを行って介助者の方が記入してください」とあるが、聞き取りした人が保護者なのか支援者なのか分かるような項目を追加して欲しい。
- 【戸田委員長】 18歳未満対象のアンケートについても同様に誰が代筆したのかわかるようにした方がよい。アンケート実施については支援者にお手伝いしていただきたいが、行政側からどのように呼びかけるのか。
- 【事務局田村】 市内の事業所へアンケートを送付する段階で「当事者からアンケート回答の話があれば支援をお願いしたい」旨の依頼をする予定。
- 【戸田委員長】 相談支援事業所には相談が寄せられることが多くなるかもしれない。
- 【細谷副委員長】 生活場面によって相談支援事業所または、グループホームの職員などが代筆する場合も考えられる。支援者の思いが回答に入ることも想定される。
- 【戸田委員長】 本人または支援者が回答を選択できなかった場合のために、「わからない」という選択肢は必要ではないか。また、委員皆様の事業所においては協力いただき、アンケートの回答

を支援してほしい。病院での対応はいかがか。

【森川委員】 市役所から郵送された書類について相談される方もいるので、対応できる。

【細谷副委員長】 このアンケートの修正版はいつ確認できるか。

【事務局田村】 アンケート修正案は8月5日を目途に委員皆様に郵送する。

【戸田委員長】 委員からの意見は8月12日までとし、12日をもってアンケート内容を確定する。

【赤山委員】 皆様の意見に同意する。

【池田委員】 アンケートについては、より多くの方に回答してもらおう工夫が必要。事業所としても支援をしていく。

【戸田委員長】 会議はこれで終了する。あとは事務局に一任したい。

【事務局田村】 次回の策定委員会は10月の下旬で調整する。

閉会

【戸田委員長】 以上をもって第1回石狩市障がい者福祉計画策定委員会を終了する。

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違がないことを証するため、ここに署名
します。

令和2年8月18日

石狩市障がい者福祉計画策定委員会

委員長 戸田 健一 